

郷

尾山町  
石山町

湯浅四郎氏寄贈

298

湯浅寺秋葉火防縁記

185

H



費田補陀山園通寺の嘉吉  
年中小遠別溪松普濟寺  
善哉禪師乃弟子誓海和尚  
來際まゝして田嶋乃郷松下の  
觀音堂より休まゆり教年  
に以て田嶋丹波寺先祖尾張守  
仲安由依波して今の急通寺





奉祈念秘葉書天坊鎮防不燭

と建立し哲法海部尚と稱して  
因山と名を師の道徳と号んで  
法より動水僧雲と号中に  
佛き捨却ある僧ありて師乃  
心し契りて隨身するの多年  
一日夏の比丘僧天狗と號し  
して昼燈して番者と師見て

あつて居ていふく居りて僧  
月覺て袈裟と掛て方丈と  
了て山僧と號し居りて師の  
けりハミ方年生捨却洞法を  
外乃僧捨人少と稱ふ人なりとて  
服とあるは僧より方丈存  
乃毎に湯浴すれば元氣不衰ハ

扇がうし是漸く暇と下れ迄と然  
ゆ方丈も是漸く暇と下れ迄と然  
別別及でと信やう久く和尚乃  
大法と徳少談しき多其の新謝ふて  
鎮防火燭といふ火防の札と一抄書して  
方丈上よりて門外かく何方とも  
初去法ふを札と秋葉控魂の火防

乃札と云傳へて文と板紙よ彫て今  
傳へて通寺に宝蔵とて城邊にて  
屋り来るといふ正五九月秋葉の  
尊像と傳へて大般若と焼く寺内  
火難除の祈禱を致し英町家立村  
門と云ふ此火災と焼く寺也

萬治元戊戌年九月念三日







